

【教育目標】 総合目標 知性を磨き、心を見つめ、チャレンジする生徒



チャレンジ☆アイ

- ◎自主性、創造性のある生徒（知育）
- ◎情操豊かな生徒（徳育）
- ◎健康でたくましい生徒（体育）

【第37回卒業式】～チャレンジ☆アイの精神で人生を真っ直ぐに進め!～

3月10日（金）に本校体育館において第37回卒業式が挙行されました。新型コロナや生徒数が900名を超えることなどから、今年度も卒業生と保護者、教職員及び関係生徒のみでの開催となりました。紙幅の都合上、式辞（一部）、送辞及び答辞とスナップを紹介します。

【式辞（一部抜粋）】校長 伊井秀治

本日ここに「新しい景色へ 踏みだそう 夢と希望を花束に」のテーマのもと、伊良波中学校第37回卒業式を挙行できますことを心から嬉しく思います。中学校3年間の課程を終え、今日めでたく学び舎を巣立つ303名の卒業生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。

（中略）卒業生の皆さん、伊良波中学校での3年間はどうか。皆さんの中学校生活は、丸々3年間コロナ禍にあり、授業や学校行事、部活動などを十分に行うことが出来ず「不完全燃焼の3年間だった」という気持ちが強いと思います。しかし、そのような中でも生徒会による行事の持ち方の工夫があり、部活動や陸上・駅伝、文化的な活動において、皆さんの活躍する姿を数多く見る事ができました。とりわけ生徒会を中心に作り上げた伊良波フェスタでは、伊中生の多才さと溢れる青春のエネルギーを感じました。また、昨年延期になった修学旅行を6月に実施することができ、皆さんの中学校生活の思い出の1ページを飾ることができたことを今更ながら嬉しく思います。授業においても、コロナ禍で様々な制約がある中、個人での問題解決は元より、ペアやグループでの学び合いを活発に行い、タブレットPCを使いこなすなど大きな成長を感じました。どうぞ、この伊良波中学校で培った知・徳・体の力（頭と心と体のエネルギー）を4月から始まる新しい生活で思う存分発揮してください。（後略）

【送辞】在校生代表 藤原理瑚



松風そよぐ高台に立つこの学び舎を巣立っていかれる伊良波中学校第37期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。私たちが入学してから2年間、部活動や生徒会活動で大変お世話になりました。先輩方との思い出は、本当にたくさんあります。

中でも、最も心に残っているのは、今年度12月に行われた伊良波フェスタです。生徒会を中心に、企画、小道具の準備、司会まで全て先輩方が行っていて、かっこいいなと思いました。高校入試を控える中、先輩方が舞台上で披露した歌やダンスはとても素晴らしかったです。また、合唱コンクールに向けた練習では、校舎のいたるところから先輩方の圧倒的な歌声が響いており、そのすてきなハーモニーにあこがれを抱いたのを覚えています。委員会活動や部活動、校内陸上など様々な活動においても、先輩方がリーダーシップをとり活気のある活動にしてくださったおかげで、私たちは思い出深い充実した日々を送ることができました。

今思えば、先輩方が入学した2020年4月は、新型コロナウイルスの影響で入学式も延期になり、その後の学校生活でも度重なる臨時休校となりました。部活動も停止となり、ため息をついた日もあったことでしょう。それでも、少しずつ日常を取り戻していく中で、先輩方は、前へ前へ進んできたと思います。

卒業後に待ち受ける人生の困難に直面した時、伊良波中で過ごした3年間の思い出してください。みんなで頑張ったこと、笑い合ったこと、辛かったこと、悩んで苦しかったこと、仲間と過ごしたかけがえのない日々。伊良波中で学んだことを活かして乗り越えていってください。

私たちも先輩方の教えを胸に伊良波中学校をもっと良い学校にしていきます。最後に、卒業生の皆様のご健康と更なるご活躍をお祈り申し上げ在校生代表の送辞とさせていただきます。

【答辞】卒業生代表 赤嶺聖菜

校庭の花々が咲き乱れる中、私たち37期生は夢と希望を胸に、今日この伊良波中学校を卒業します。長かったようで短かった3年間、とても色濃く昨日のように思い出されます。思い出が詰まったこの伊良波中学校とも、もうお別れです。

あこがれの制服に袖を通し不安と緊張で胸がいっぱいの中始まった1年生。入学してすぐ休校になり、リモート授業になったりと落ち着かない学校生活でしたが、そんな中開催されたイラハリンピックが私達と先輩達の中をととても深めてくれ、学校生活にも活気がわいてきたことを覚えています。

2年生になると学校生活にも慣れ、後輩ができ、1年生の真新しい制服がとても新鮮に感じられました。そして、2学期になると進路学習の時間が増え、それぞれ自分の進路を真剣に考えるようになりました。

そして3年生になった私達は、卒業までの1日1日を大切に過ごしてきました。修学旅行では親元を離れ、班で協力し合い、計画を立て清水寺や金閣寺など京都の町を探索したり、奈良公園やUSJでは、友達と楽しく過ごすことができ充実した修学旅行になりました。伊良波フェスタでは、個性豊かな出し物で盛り上がり、とても楽しい思い出を作ることができました。

合格祈願をしたナイトウォークでは、みんなで励まし合いながら、地域の方や先生方、保護者の皆さんの協力のもと全員で35キロという長い距離を完歩することができました。この体験を通して、より友情が深まり自分の限界を乗り越えることができ「やればできる」という自信を持つことができました。

また、部活動では、新型コロナの影響で大会が無くなり練習の成果を発揮する場を失うこともありましたが、そんな苦しいときも仲間と共に乗り越えてきました。3年生最後の夏季大会では、今までの練習の成果を発揮できましたが、目標には一步届かず、とても悔しい思いをしたことが忘れられない思い出です。

この3年間、私達が色々なことに取り組むことができたのは先生方や保護者の皆様の支えがあったからです。先生方、3年間いつも私達のことを真剣に考え、間違ったことをした時には叱ってくださりありがとうございました。個性あふれる先生方の授業がとても楽しかったです。先生方のことは一生忘れません。

そして、保護者の皆様、この3年間たくさん迷惑をかけてしまいました。それでも私達のことを近くで見守り、時には助けてくださり本当にありがとうございました。これからもたくさん迷惑をかけるかも知れませんが、少しずつ恩返しができるように頑張っていきますので、これからもよろしくお願いします。

在校生の皆さん、これからは生徒会長の藤原理瑚さんを先頭に、伊良波中学校の素晴らしい伝統を受け継ぎ、更に良い伊良波中学校を築いていってください。

そして、3年生の皆さん、今日で義務教育も終わりです。新型コロナの影響で思うような学校生活を送れず不安になった時も、みんながいたから乗り越えることができました。みんなと過ごした日々はどれも大切な思い出です。中学校を卒業し、それぞれの道を歩むこととなりますが、皆さんのことを心から応援しています。5年後の成人式で37期生のみんなに会えることを楽しみにしています。最後になりますが、伊良波中学校の益々の発展と皆様のご健康、ご活躍を祈念し答辞いたします。

